

(76)

氏名(生年月日)	キム 金	ヨン 英	ウ 宇
本籍			
学位の種類	博士(医学)		
学位授与の番号	乙第1240号		
学位授与の日付	平成4年1月17日		
学位授与の要件	学位規則第4条第2項該当(博士の学位論文提出者)		
学位論文題目	消化器癌患者に対する術前短期のIVHの意義		
論文審査委員	(主査)教授 浜野 恭一 (副査)教授 白坂 龍曠, 宮崎 俊一		

論文内容の要旨

目的

栄養障害を認めた胃癌, 大腸癌患者に対して術前約1週間のIVHを施行し, 術前短期IVHの栄養的効果とその限界について検討した。

対象および方法

対象は, 1988年9月~1989年8月に入院した胃癌, 大腸癌96例のうち軽度から中等度までの栄養障害を認めた55例である。栄養障害判定にはBuzbyらの基準を用いた。

1) $NRI \leq 100$, NRI (nutritional risk index) = $\{15.9 \times \text{アルブミン (Alb)}\} + (0.417 \times \% \text{健常時体重})$

2) (1) 入院時体重 $\leq 95\%$ 標準体重

(2) $\text{Alb} \leq 3.929\text{g/dl}$

(3) プレアルブミン (PA) $\leq 18.6\text{mg/dl}$

1) または2)のうち2項目以上を満たすもの

方法は, 対象に術前約1週間, 平均16Kcal/BW/dayのIVHを行い, 術前日に再度栄養障害を判定し, 栄養状態が正常化した者をI群, しなかった者をII群とした。

測定項目

1) 身体計測

身長, 体重, %健常時体重, %標準体重, 上腕周囲長, 上腕三頭筋皮下脂肪厚 (TSF), 上腕筋周囲長, 握力

2) 血液生化学検査

GOT, GPT, ChE, 血清総蛋白, Alb, PA, レチノール結合蛋白 (RBP), トランスフェリン

3) 免疫検査, 栄養指数

末梢総リンパ球数, 補体 C_3 , 遅延型皮内反応, 小野

寺のPNI (栄養指数)

4) 術前エネルギー総投与量

経口摂取量, IVH投与量

5) 手術因子

手術時間, 出血量

6) 術後合併症

1)~3)は入院時と手術前日に測定し, 栄養改善率(術前値/入院時値)を求めた。6)の術後合併症については軽, 中等, 高度に分類し, さらに感染, 非感染性に区分した。

以上の項目についてI, II群間で比較検討した。

結果

1) I群20例, II群35例であった。I, II群の入院時の栄養評価は $NRI 97 \pm 4$, 92 ± 6 ($p < 0.01$), PNI (小野寺) 46 ± 5 , 42 ± 6 ($p < 0.01$) で, I群は軽度, II群は中等度栄養障害であった。

2) 各栄養パラメータはI, II群とも改善するが, TSF, PA, 補体 C_3 においてI群が, II群よりも有意に改善した。

3) エネルギー投与と栄養パラメータの改善率との相関関係ではI群のPA, RBPが有意に改善した。

4) I群の感染性合併症は25%, II群は41.7%でII群に多い傾向であった。非感染性合併症は同程度であった。

結論

1) 食事と並行した術前1週間以内のIVHは, 軽度栄養障害を改善, 正常化させた。しかし, 中等度栄養障害の改善には不十分であった。

2) 短期 IVH の評価のための鋭敏な栄養パラメータとしては、PA, RBP が有用であると考えられた。

3) 術前 IVH は、感染性合併症を減少させる可能性が示唆された。

論文審査の要旨

中心静脈栄養法(IVH)の有効性は広く認められているが、手術予定患者に対する、術前短期 IVH の栄養管理を検討した報告はない。

本論文は栄養障害を有する消化器癌患者に対して、術前1週間の IVH を行い、その効果と限界、および栄養パラメーターの変動をみたもので、本方法で軽度栄養障害を正常化させ、且つ短期 IVH の評価に最も鋭敏な栄養パラメーターとして、プレアルブミン、およびレチノール結合蛋白が有用であることを明らかにしたもので、学術上、価値ある論文である。

主論文公表誌

消化器癌患者に対する術前短期の IVH の意義

東京女子医科大学雑誌 第61巻 第7号
32-41頁 (平成3年7月25日発行)

副論文公表誌

- 1) 大腸癌患者における術後早期エネルギー消費量の検討(第1報). 日本大腸肛門病会誌 43(6): 1192-1197 (1990) 米山公造, 城谷典保, 金英宇, 松本匡浩, 平泉泰自, 滝口進, 亀岡信悟, 馬淵原吾
- 2) 胃癌手術症例における術後早期よりの経腸栄養法. 東京女医大誌 59 (5): 409-415 (1989) 平

泉泰自, 城谷典保, 金英宇, 浜野恭一

- 3) 最近の結腸栄養剤高カロリー輸液剤の進歩. 看護技術 35 (3): 289-295 (1989) 城谷典保, 金英宇
- 4) 前処置として経口腸管洗浄液 Golytely を用いた注腸 X線写真の検討. Therapeutic Res 10 (1): 214-220 (1989) 宮崎要, 亀岡信悟, 田中信一, 青木淑恵, 河一京, 秦真治, 斉藤登, 金英宇, 神崎博, 米山公造, 進藤廣成, 中島清隆, 平泉泰自, 朝比奈完, 浜野恭一